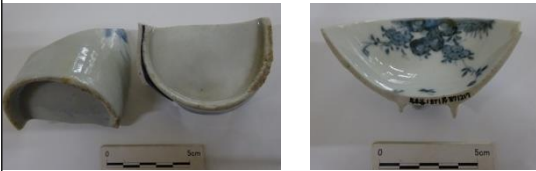



「近世考古学の提唱」50周年記念 「近世の酒と宴」 正誤表

頁	行	誤	正
目次	31	アイヌ民族と酒 ー漆>陶磁器の価値観	アイヌ民族と酒 ー漆器>陶磁器の価値観
8	2	島田一恕	亀田一恕
129	19	…酒も至て値の卑きあり一樽四…	…酒も至て値の卑きあり、一樽四…
129	21	升買にすれば三匁以上四酒は…	升買にすれば三匁以上 <u>の</u> 酒は…
129	26	天保 14 (1843) 年 高崎屋…	<u>天保 13 (1842) 年</u> 高崎屋…
171	18	小田原藩永代日記：寛文 3 (1936) …	小田原藩永代日記：寛文 3 ( <u>1663</u> ) …
201	—	地名表示のズレ	別紙のとおり
209	2	『守貞漫稿』	『守貞 <u>謄</u> 稿』
210	25	『守貞漫稿』	『守貞 <u>謄</u> 稿』
212	2	『守貞漫稿』	『守貞 <u>謄</u> 稿』
233	—		
		誤	正
		(キャプションを移動する)	
有田町年木谷一号窯			有田町年木谷一号窯 
234	—	『守貞漫稿』	『守貞 <u>謄</u> 稿』
234	—	『守貞漫稿』	『守貞 <u>謄</u> 稿』
247	欄外	34 雑司ヶ谷遺跡	34 <u>尾張藩上屋敷跡遺跡</u>
247	欄外	45 東大情報学環福武ホール	<u>44</u> 東大情報学環福武ホール
250	9	特に後者では	特に <u>前</u> 者では
279	—	図 17 盃・杯 (S = 1/3)	図 17 酒盃・杯 <u>3</u> (S = 1/3)
356	20	江戸買物案内	江戸買物 <u>独</u> 案内
405	10	11 cm代	11 cm <u>前</u> 後
405	13	鉦物系下地が多い。	鉦物系下地が <u>主体</u> を占める。
406	18	多数を占めて <u>いる</u> 。	多数を占めており、下地は炭粉下地、赤色はベンガラが多数となる。
408	3~7	同じく室町時代、16世紀前半の『酒伝童子絵巻』、16世紀中葉頃に制作された『酒飯論絵巻』、 <u>16世紀の『月次風俗図屏風』</u> で描かれる酒宴では、注酒器は金属製と思われる長柄銚子、提子、盃は土器のか	同じく室町時代、16世紀前半の『酒伝童子絵巻』、16世紀中葉頃に制作された『酒飯論絵巻』で描かれる酒宴では、注酒器は金属製と思われる長柄銚子、提子、盃は土器のかわらけが使用されて <u>おり</u> 、『酒

		<p>わらけが使用されている。また、『酒飯論絵巻』では、かわらけは衝重や折敷に直接置かれる様子がみられる(図17)。そして、17世紀前半の『洛中洛外図屏風』(舟木本)では、近世的な形状を持つ、内外面赤色の盃が描かれている(図18)。</p>	<p>飯論絵巻』では、かわらけは衝重や折敷に直接置かれる(図17)。一方で16世紀の「月次風俗図屏風」、「高雄観楓図屏風」(東京国立博物館)、17世紀前半の「洛中洛外図屏風」(舟木本)では、<u>焼き物のうつわと共に、近世的な形状を持つ、内外面赤色の盃を確認することができる</u>(図18)。</p>
408	26	16世紀の <u>絵巻や屏風</u> には漆盃が描かれており、	16世紀の屏風絵には <u>近世的な漆盃</u> が描かれており、
408	33		<p>(以下を加筆する)</p> <p>なお、塗盃は主にケヤキで鉋物系下地を持ち、塗りは内外赤色で水銀朱、加飾は内面に金蒔絵という、椀類などと比較して明らかに特徴が偏る資料群である。この結果から推測される可能性として17世紀の「塗盃」は、狭い地域あるいは技術的に繋がりのある少数の産地で製作されており、江戸遺跡を中心として北陸地方に流通ルートを持つことを指摘できる。17世紀にケヤキで鉋物系下地、水銀朱を主体とした資料を製作しているのは、北海道・東北地方を除く地域、ケヤキ、カツラ、トチノキ、シオジ、サクラ、ハンノキ属などの樹種では北陸・関東・東海地方以西、金蒔絵という加飾を考慮すれば、京都を中心とした西日本の可能性が高く、西日本における今後の調査成果が期待される。</p>
424	図2	(以上出典4掲載の・・・)	(以上出典5掲載の・・・)
449	図19		<p>(以下を加筆する)</p> <p>実測図は、雲仙市教育委員会『鍋島陣屋跡』2012より転載</p>
456	写真10		<p>(以下を加筆する)</p> <p>公益財団法人 大阪市博物館協会 大阪文化財研究所提供</p>
456	註20	・2011(平成23)年	・2011(平成23)年 <u>三代俊幸共著</u>

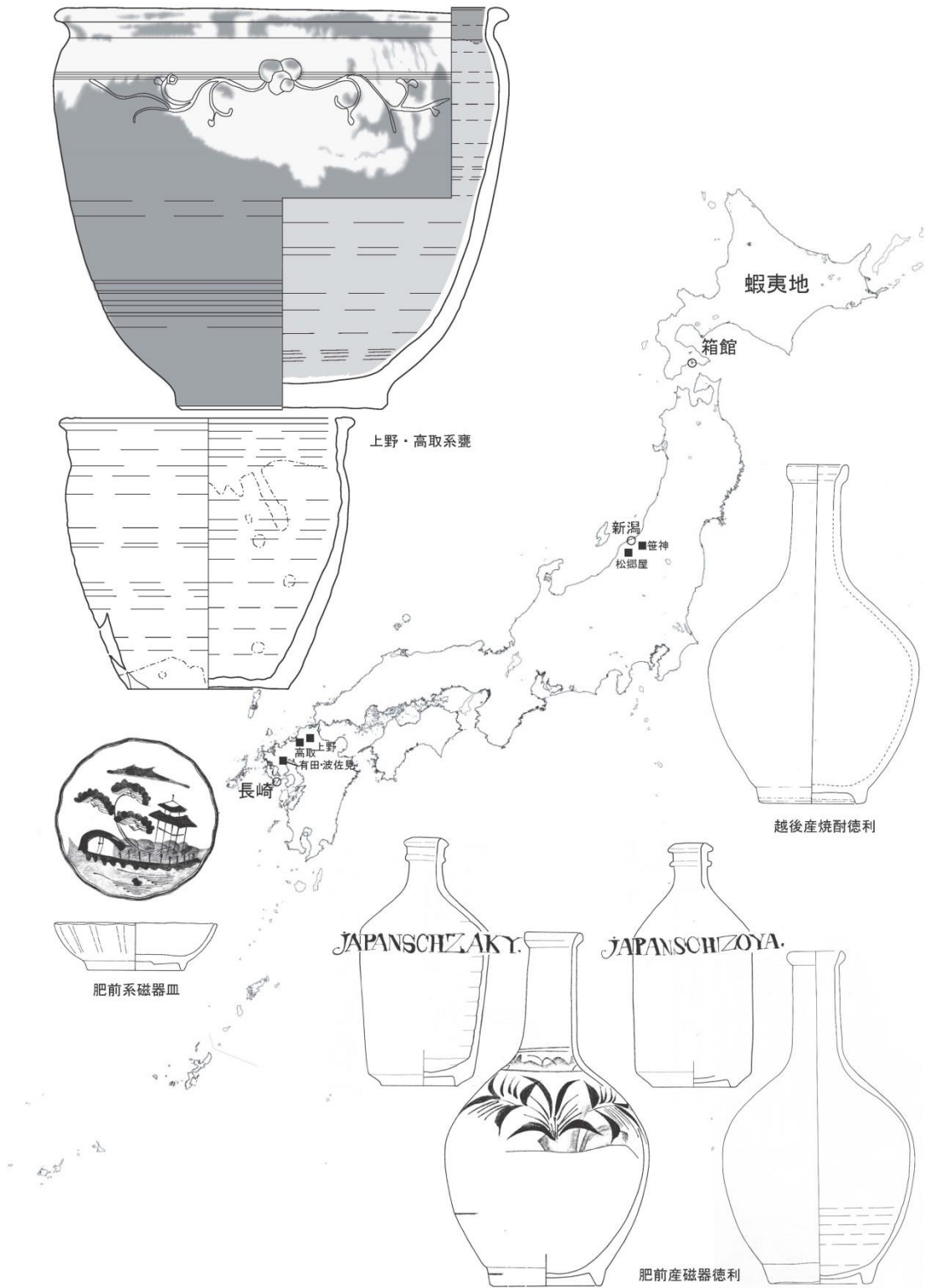


図9「幕末蝦夷地3点セット（甕・徳利・三平皿）」とその生産地

(出典：関根 2015)